

# 典礼のしおり

o Domingo № 57

PANIB 発行 24 | 12 | 2023

## 待降節 第四主日

兄弟の皆さん、マリアの「はい」といった答えによって、神は私たちのうちにお出でになりました。私たちは神の靈の働きに心を用意し、受肉の神秘に心を開かなければなりません。私たちが祝おうとしているキリストの誕生は、神の使者によって告げられた「良い日より」を受け入れる人々や共同体に現れます。

### 入祭唱

天よ、露つゆをしたたらせ、雲よ、義人ぎじんを降ふらせよ。地よ、開いて救い主を生み出せ。

### 集会祈願

恵み豊かな父よ、わたしたちの心にいつくしみを注いでください。みことばが人となられたことを信仰によって知ったわたしたちが、御子の苦しみと死を通して復活の栄光にあずかることができますように。聖靈の

交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

### 朗読の解説

喜びと感謝の心をもって神のみ言葉を受け止めましょう。神はご自分の救いのご計画を私たちに示し、マリアの胎内に救い主の受胎の約束の成就を示されます。

サムエル記 (サムエル下 7:1-5, 80-12, 14<sup>g</sup>, 16)

または 7:1-5, 80-11, 16)

「**ダビデ**」王は王宮おうきやうに住むようになり、主は周囲しゆういの敵をすべて退けて彼に安らぎをお与えになった。王は預言者ナタンに言った。「見なさい。わたしはレバノン杉の家に住んでいるが、神の箱は天幕てんまくを張った中に置いたままだ。」ナタンは王に言った。「心にあることは何でも実行なさるとよいでしょう。主はあなたと共におられます。」しかし、その夜、ナタンに臨のぞんだ主の言葉は次のとおりであった。「わたしの僕**ダビデ**のもとに行つて告げよ。主はこう言われる。あなたがわたしのために住むべき家を建てようというのか。」

わたしは牧場の羊の群れの後ろからあなたを取つて、わたしの民イスラエルの指導者にした。あなたがどこに行こうとも、わたしは共にいて、あなたの行く手から敵をことごとく断ち、地上の大いなる者に並ぶ名声を与えよう。わたしの民イスラエルには一つの所を定め、彼らをそこに植え付ける。民はそこに住み着いて、もはや、おののくことはなく、昔のように不正を行う者に圧迫されることもない。わたしの民イスラエルの上に土師を立てたところからの敵をわたしがすべて退けて、あなたに安らぎを与える。主はあなたに告げる。主があなたのために家を興す。あなたが生涯を終え、先祖と共に眠るとき、あなたの身から出る子孫に跡を継がせ、その王国をゆるぎないものとする。わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。》  
あなたの家、あなたの王国は、あなたの行く手にとこしえに続き、あなたの王座はとこしえに堅く据えらるる。」

答唱詩編（詩編 89）

全・ 神のいつくしみをとこしえにうたい、

主のまことを代々に告げよう。

わたしはしもベダビドを選び、  
尊い油を彼に注いだ。

わたしの手はいつも彼とともにあり、  
わたしの腕は彼を強める。

全・ 神のいつくしみをとこしえにうたい、  
主のまことを代々に告げよう。

いつくしみとまことは彼とともにあり、  
彼はわたしによつて高められる。  
彼はわたしに呼びかける。

「わたしの父、わたしの神、  
わたしの救いの力。」

全・ 神のいつくしみをとこしえにうたい、  
主のまことを代々に告げよう。

わたしのいつくしみは永遠に変わることなく、  
わたしの結んだ契約はとこしえに保たれる。  
わたしは契約を破らず、

約束したことばを変えない。

全・ 神のいつくしみをとこしえにうたい、

主のまことを代々に告げよう。

使徒パウロのローマの教会への手紙(ローマ16:25-27)

「皆さん、」神は、わたしの福音すなわちイエス・キリストについての宣教によって、あなたがたを強めることができになります。この福音は、世々にわたって隠されていた、秘められた計画を啓示するものです。その計画は今や現されて、永遠の神の命令のままに、預言者たちの書き物を通して、信仰による従順に導くため、すべての異邦人に知られるようになりました。この知恵ある唯一の神に、イエス・キリストを通して栄光が世々限りなくありますように、アーメン。

### アレルヤ唱

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

わたしは主の召し使い。おことばどおりになりますように。

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

ルカによる福音 (ルカ1:26-38)

「そのとき、」天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。ダビデ家のヨセフという人のいいなづけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。天使は、

彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。

主があなたと共におられる。」マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。

神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知らませんのに。」天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。あなたの親類のエリサベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。神にできないことは何一つない。」マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。

### 信仰宣言

## 共同祈願

司・兄弟姉妹の皆さん、イエスは既に私たちの処においてになりました。そして私たちの間に住み続けられることをお望みです。大きな信頼をもってイエスに私たちの祈りを捧げましょう。

1・いと高き神の子である主よ、あなたはマリアから生まれ、私たちの内にお住まいになるためにおいてになりました。教会が何時も御父なる神のご計画に忠実であるよう助けてください。

全・主イエスよ、早く、来てください。

2・ダビデの子孫であるイエスよ、私たちの統治者たちを導いてください。最も貧しい人々、すべての人々に人道的な生活を促進することが出来ますように励ましてください。

全・主イエスよ、早く、来てください。

3・人間の弱さを引き受けられた神の聖なる方よ、私たちキリスト者を強めてください。神のみ旨に従い、貴方を決して放棄しない決意を固めてください。

全・主イエスよ、早く、来てください。

4・世の救い主よ、あなたは民を裁くために来てくださいます。人類が愛と優しさをもって、あなたを受け

入れることが出来ますように。

全・主イエスよ、早く、来てください。

5・神の決定的な神殿であるキリストよ、あなたはご自分の住まいとしてマリアを選ばれました。私たちが教会におけるマリアの母性的な存在を認識し、評価することが出来ますように。

司・主イエスよ、あなたの福音に忠実に歩きたいと願うあなたの共同体の願い聞き入れてください。貴方は世々に生き、支配しておられます。アーメン。

## 奉納祈願

恵み豊かな父よ、あなたは聖霊を送り、おとめマリアを恵みで満たしてくださいました。同じ聖霊によって、この祭壇のささげものをとうといものとしてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

## 拝領祈願

全能の神よ、秘跡によって救いの希望を新たにいたしましたたちが、日々信仰と愛を深め、降誕祭をふさわしく祝うことができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。